

設後の運営費が些少であることから、非常に困難かと思われまます。ただ、今後については関係機関に指導を仰ぎ、従来の建設資金にこだわらず、PFI方式も含めて工夫を凝らして教育施設の整備を促進したい。

Q 平成20年度完成を指して宇仁小学校は

建設したいとのことだが、市内の子どもの数が20年前に5,000人近くいたのが、いま2,900人に減少。宇仁は一番顕著な例で、女の子が3人と男の子が7人しかいない学年もある。小学校は、勉強を教えるだけでなく、子どもたちの健全な育成や自分の可能性を見出すことからいけば、もっと大きな役割を持っている。宇仁の次は西在田や富田も待っている。地域での小学校の行政的なあり方よりも、子どもたちがたくましく育ち、子どもの能力を生かすためにも校区をシャッフルして5校区ぐらいにしてもいいのではないか。

A 小学校は地域の拠点であり、現状宇仁小



校区も含めて人口減少が著しいと認識しています。そういう所に、小学校の単体を建てるのかという問題はもう既に議会の中で議論しつつされたと理解し、それを前提に私としては、その方向で対応していきます。

Q 小学校はどんな規模なものでも建てていくのは、地域としてはと

もありがたい。ただ3人や5人の教室を本当に正しい教育環境とは思わないので、小学校を建てるのであれば、それに付随した人口増の対策をぜひ一緒にいただきたい。

A 私も学校建設に付随して人口増の施策に

力点を置くべきだという認識。仮に宇仁小学校の、学力

が相当高くなれば、あるいは有名校への進学が相当進んでいくような、学力水準の高い良質な教育を受ける学校だという認識が増えれば、いろんな校区からこの宇仁小学校へ域外からの流入も増えていくと思う。子育て世代、学童を抱えた世代から見ると、教育はすぐ大きな問題で、それがきつかけとなって転入も増える部分もあるうかと思えます。そういう意味で、人口流入の施策とタイアップした宇仁小学校の建設ということを念頭に置いて対応していきたい。

Q 市としての経営戦略室の位置づけ、その内容は何か。

A 経営戦略室は新しい機構で、私が掲げた政策について、市役所内から横断的に集まってくれた職員が、さまざまな角度から検討を加えて問題点を洗い直し、

が相当高くなれば、あるいは有名校への進学が相当進んでいくような、学力水準の高い良質な教育を受ける学校だという認識が増えれば、いろんな校区からこの宇仁小学校へ域外からの流入も増えていくと思う。子育て世代、学童を抱えた世代から見ると、教育はすぐ大きな問題で、それがきつかけとなって転入も増える部分もあるうかと思えます。そういう意味で、人口流入の施策とタイアップした宇仁小学校の建設ということを念頭に置いて対応していきたい。

市民の皆さんに対して検討結果を公表し、必要な政策に優先順位もつけて、その優先順位に沿って素早く行政対応し、市民の皆さんの評価と実施過程を検証します。従来の組織ではそれぞれの担当の範疇があつて、縦割り行政の中で十分市民ニーズに答えられなかった事項や重要な案件に対して意思決定のスピードを早めて市民の皆さんの付託に答えること、これが経営戦略室の設置の目的です。

市営住宅

Q 公共住宅の処分等はどのように行つか。

A 市営住宅用地は、新築住宅への住みかえを契機に老朽化した住宅については解体し、不要となった土地は普通財産として活用を処分も含めて検討していきたい。

現在居住中で、築浅の市営住宅の売却は、売却までに乗り越えるべき課題も多く、今後の検討課題の一つとご理解ください。市営住宅は、公営住宅法の規定により補助を受けて建設されてきました。いずれの

市民の皆さんに対して検討結果を公表し、必要な政策に優先順位もつけて、その優先順位に沿って素早く行政対応し、市民の皆さんの評価と実施過程を検証します。従来の組織ではそれぞれの担当の範疇があつて、縦割り行政の中で十分市民ニーズに答えられなかった事項や重要な案件に対して意思決定のスピードを早めて市民の皆さんの付託に答えること、これが経営戦略室の設置の目的です。

各常任委員会が行政視察を行います
視察先は各分野の先進自治体で、その成果は今後の議会・委員会活動に活かされます。

■建設経済常任委員会

◆日程 8月10日(水)～12日(金)
■視察地(視察内容)
北海道小樽市(観光行政・地域再生計画・再開発ビル)・江別市(地産地消(小麦メン)・リサイクルバンク)・留萌市(商業環境創出・農業経営の安定化と生産基盤整備の促進・バイオマスタウン構想)

■厚生常任委員会

◆日程 7月25日(月)～27日(水)
■視察地(視察内容)
秋田県秋田市(秋田総合病院の運営子ども未来センター)・横手市(次世代育成支援行動計画・横手病院の運営)・山形県山形市(次世代育成支援行動計画(特区) 2才から幼稚園に入園)・山形市立病院・済生館の運営

■総務常任委員会

◆日程 7月28日(水)～30日(金)
■視察地(視察内容)
長野県茅野市(行政改革・パートナーシップのまちづくり(教育、地域情報化))・岡谷市(窓口業務(ワンストップサービス)・補助金のサンセット方式・体育施設の民間委託)・塩尻市(30人規模学級・事業部制)

詳しい視察報告は議会のホームページの新着情報欄でご覧いただけます。